

# シリア内戦と欧州難民危機— 相関地域論の視座



報告者: 内藤正典氏 (同志社大学)

コメンテーター: 金城美幸氏 (立命館大学)

日時: 2020年3月2日 (月) 14:00-17:00

場所: 名古屋大学環境総合館3階講義室2

アクセス: 地下鉄名城線「名古屋大学」下車2番出口

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>

## ◆登壇者紹介◆

内藤正典氏: 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。専門は国際移動論、現代イスラーム地域研究。近年の単著に『外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?』(2019年、集英社)、『限界の現代史 イスラームが破壊する欺瞞の世界秩序』(2018年、集英社新書)など。

金城美幸氏: 立命館大学非常勤講師・生存学研究センター客員研究員。イスラエル建国とパレスチナ人の難民化とをめぐる歴史と記憶を研究テーマとする。近年の論文に、「歴史認識の同時性を検討するために」(2018年、『現代思想』46巻8号)、「委任統治下パレスチナにおける「民族対立」創出の背景」(2018年、『ユダヤ・イスラエル研究』32巻)など。

参加無料・事前申し込み不要  
問い合わせ先:

[sugie.ai@b.mbox.nagoya-u.ac.jp](mailto:sugie.ai@b.mbox.nagoya-u.ac.jp)

主催: 名古屋大学高等研究院YLC

共同研究採択課題「移動と共生—移民・難民をめぐるグローバル・スタ

ディーズ」

